

令和6年度三田市高校生議会 質 問 書

【質 問 者】 17番 兵庫県立三田祥雲館高等学校 2年 谷川 心陽(た
にがわ こはる)

【担 当 課】 市民生活部 環境政策課

【答弁予定者】 市民生活部長

【質 問 事 項】 三田市における保護猫活動について

【質 問 内 容】

17番 高校生議員の兵庫県立三田祥雲館高等学校2年の谷川 心陽です。

私からは三田市における保護猫活動について質問します。私は高校1年生の冬に三田市内で怪我をしている子猫を保護して飼い始めたことをきっかけに、三田市が猫と人間の両方に目を配り、トラブルを減らして住みやすい街になればいいと考えています。飼い主のいない猫が増えることによって猫の喧嘩による怪我、感染症や交通事故が起こる確率が高くなります。

現在の三田市は捕獲器や猫よけ器の貸し出し、補助金の助成等を行っています。しかし、飼い主のいない猫による被害の苦情や、ボランティア団体からの助成金の上限額の引き上げを求める声も上がっており、より効率的な保護猫活動や住民からの理解が必要だと考えます。

そこで私から3つの提案をしたいと思います。1つ目は、私たち高校生が作った保護猫活動についてのポスターを三田市役所に掲示して頂くことです。高校生である私たちが作ることで同世代の人たちや大人の方々にも関心を持っ

てもらいやすく、住民からの理解を得るのに効果的だと考えます。2つ目は、捕獲器の台数の増加です。令和6年度は在庫数が5台に対して延べ14台の貸し出しを行っており、使用状況がとても良いため、捕獲器の台数を増やすことでより効率的な保護猫活動が可能になるのではないのでしょうか。3つ目は補助金の上限額の引き上げです。避妊去勢手術1匹につき8800円では足りないため、実情に合わせた金額にすることで、ボランティア団体の方々の負担が減り、よりスムーズな保護猫活動が可能になると考えます。

これらを行うことで、地域の猫の被害に困っている人と、可哀想な猫を助けた人の共通する思いを実現でき、より住みやすい街になっていくと思います。以上のことにつきまして、市の考えをお聞かせください。

【答 弁 内 容】

市では令和3年度から、飼い主のいない猫、いわゆる野良猫の無制限な繁殖を抑制し、猫による被害を減らすため、不妊去勢手術費の一部を補助する「三田市飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助金」制度を開始しています。この補助制度により、飼い主のいない猫を、一時的に捕獲し、不妊去勢手術を行い、元の場所に戻す TNR 活動を推進しています。この補助制度も4年目を迎え、市民の皆さまに周知されつつあるものの、飼い主のいない猫の相談は依然多く寄せられているため、引き続きより一層の周知・啓発は必要であると考えております。

1つ目の高校生が作った保護猫活動についてのポスターを三田市役所に掲

示してはどうかというご提案ですが、若い世代が描くメッセージを市民の皆さまに伝えることで、飼い主のいない猫について考える機会をより一層増やすことにつながると考えますので、今後、具体的な実施方法などについて検討してまいりたいと考えております。なお、市の TNR 活動における啓発については、令和5年度に TNR 活動の推進動画を作成し、市 HP での公開や動物愛護関係イベントでの放映を行っています。この動画には、市内の小学生を対象にした「動物の正しい飼い方ポスターコンクール」の応募作品を使用しており、TNR 活動がテーマのものは数が少ないものの、若い世代のメッセージには大きな魅力があると感じているところです。

2つ目の猫の捕獲器台数を増加してはどうかというご提案ですが、今後は台数の増加の他にも、誰もが扱いやすい小さめの捕獲器の購入も検討してまいりたいと考えております。捕獲器の貸出事業につきましては、令和5年10月から TNR 活動の補助金申請者を対象に貸出しを開始しました。ボランティア団体の助言のもと、実際に現場で使いやすいものを購入したところ、捕獲器の使用頻度は高く、全ての台数を貸し出すこともあります。ボランティア団体からは、一度に複数の捕獲器で猫を一斉に捕獲するほうが効率がよいという助言をいただいたため、一度に貸し出す台数の制限は設けておりません。ご提案いただいたご意見を参考にさせていただき、より一層 TNR 活動を始めやすい体制づくりに努めていきたいと考えています。

3つ目の補助金の上限額を引き上げてはどうかというご提案ですが、今後

は申請者の負担額を抑え、より利用しやすい制度となるよう、補助金額の増額について検討してまいりたいと考えております。この補助金の創設時には、比較的安価な TNR 専門病院で手術をした場合は、申請者に負担がかからない額とすることから現行の 8800 円を設定しました。しかし、近年の物価上昇により TNR 専門病院の手術費も値上がりし、申請者の負担が増している状況です。ご提案についてはしっかりと受け止めさせていただきます。

飼い主のいない猫の被害に困っている人と、飼い主のいない猫を助けたい人の両方の思いを大切に、人も猫も幸せな三田市の実現をめざして、今後とも TNR 活動を推進してまいります。

【再質問内容】

丁寧なご回答をいただきありがとうございます。

お答えを受けて、いくつかの点について詳しくお伺いしたいと思います。

補助金額の増額に関する検討について、具体的な検討期間や方針はどのようなものでしょうか。例えば、令和7年度中に結論を出す予定なのか、それともさらに長期的な計画になるのか教えてください。また、物価上昇による手術費の増額に対しては迅速な対応が求められると考えますが、当面のつなぎ処置として、臨時的な補助金拡充を行う可能性はありますか。

以上の内容につきまして、ご回答をいただきたいと思います。

【再答弁内容】

まず、補助金の増額についての基本的な考え方ですが、担当部署としては、実際の経費と補助額がかけ離れると申請者の協力が得られにくくなり、結果として、TNR 活動が後退しかねないとの問題意識を持っています。そのため、申請者には過度な負担を強いて協力をいただくことがないよう配慮が必要だと考えており議論ははじめています。

ただし、補助金増額の予算化にあたっては、市全体の予算配分のバランスについても配慮する必要があることから、実現時期についてはできる限り速やかに対応していきたいと考えております。